

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.242

■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）
第1回「改善活動の基礎講座 ～カイゼンの基本～」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施していく予定です。

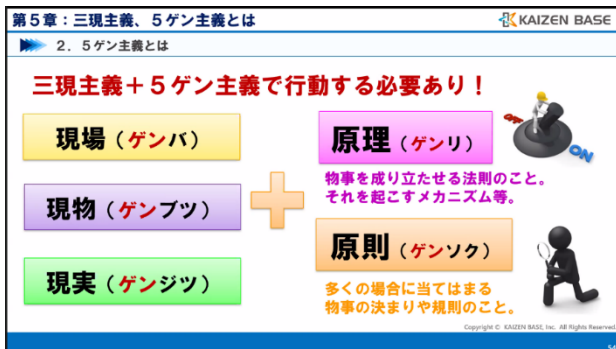
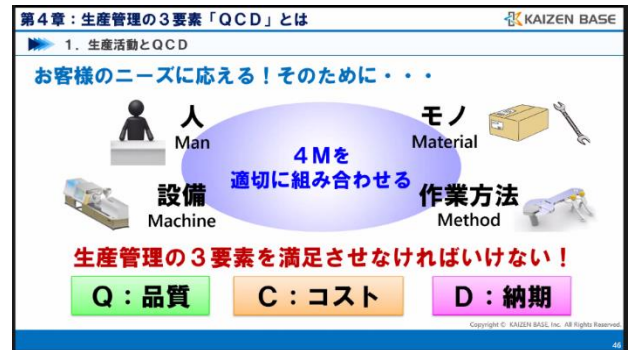
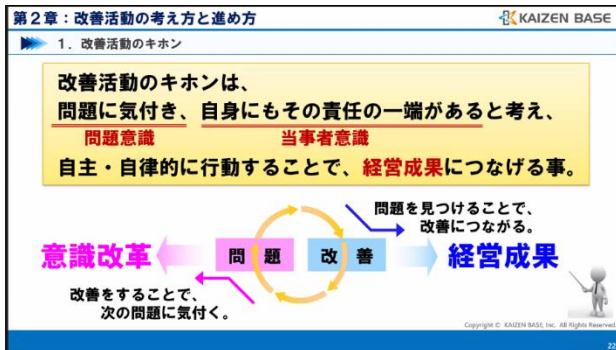
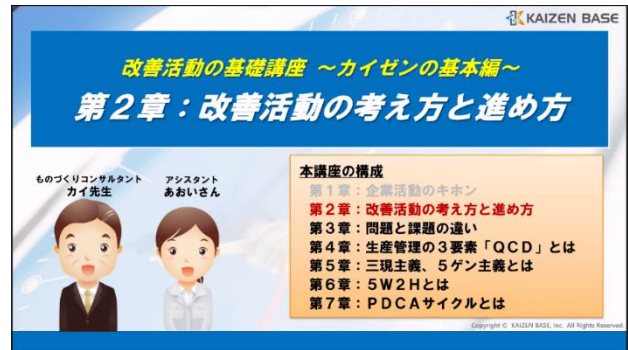
今回は、その第1回目として、当センターの望月センター長による開講の挨拶に引き続いて「改善活動の基礎講座～カイゼンの基本～」を Web セミナー形式で開催しました。

■ 日 時：令和6年5月16日（木）13時30分～15時30分

■ 場 所：Web形式

■ 参加者：71社／509名

<開講挨拶>



【参加者の声】

- ・企業が存続するための土台は利益を上げ続けることであり、その利益を上げる基本が改善活動であり、その重要性がわかった。
- ・なぜ改善が必要なのか、改善の進め方等、改善の根本を知ることができた。また、コミュニケーションをとる際のアドバイス等、すぐに実践できる内容が多くあった。
- ・生産管理の3要素、5ゲン主義、5W2H等、良く耳にする言葉だが、一つ一つの言葉から意味まで改めて確認することができ、参考例を基に自分の仕事に結びつけて考えることができた。
- ・改善活動なくして企業の向上はないと思った。利益を出し続けるためにも、とても重要で大変参考になった。
- ・5W2Hなど、わかっているけど理解が不足している部分があったので、改めてこのセミナーで勉強することにより、コミュニケーションが向上し、円滑に仕事ができるようになるので、大変参考になった。
- ・利益を上げるためには製造原価を下げるのが重要であり、4Mの視点から改善することで、自分にもメリットになっていくことがわかった。
- ・改善を行う際の考え方・進め方に日常改善、目標設定型改善に分けることでそれぞれのアプローチがあることが分かった。改善活動をするうえで「できない、無理だ、難しい」という固定概念を取り除くことが大切という点が自分には欠けていると感じた。
- ・基本部分なのでよく耳にする言葉が多く、改めて確認できた。改善活動についてのセミナーは初めて参加をしたのでどのような考え方や進め方があるのか学べて、とても勉強になった。今後の改善活動では積み重ねを意識して取り組んでみようと思った。
- ・日々の日常改善において、小さなことからでもいいので、沢山の改善を行い、現場力を向上させることが大事だと学んだ。できないからムリと諦めるのではなく、できるようにすることに頭を使うことが大切だと感じた。
- ・改善に対し、気付き方や問題・課題の見極め、課題に対しての改善方法を学べ、部下に対して教育の仕方を知ることができた。
- ・改善活動を行う理由や、企業が利益を追求する理由を改めて学ぶことができた。また、問題と課題の違いやQCD等、普段よく聞く言葉について、正しい知識を学び例題を通じてより理解できた。
- ・改善は会社のためである前に、自分のためであるということが理解できた。また、5W2Hが特に印象に残っており、上司や同僚などと接する際、コミュニケーションをとる際など、常に意識して情報を伝える報連相をしなければならないのだと再認識した。
- ・改善の基本的な考え方について学ぶことができて良かった。これまであまり考えていなかった「問題」と「課題」の違いや、QCD、コミュニケーションに必要となる5W2H、PDCAなど具体的な例や問題等を交えながら解説してもらえたので理解しやすかった。
- ・自分の中の知識としてある程度理解している内容だったが、企業としての考え方や、自分が会社にとって価値のある存在になるための考え方を再認識する良い機会になった。我々のような中堅社員でも現状に満足せず、若手とともに企業の発展に寄与していくこと、その最前線に立って部下や後輩を引っ張っていくことが自分のためになることが分かった。
- ・改善活動を継続的に行うことの大切さを改めて実感した。利益を創出するには原価を下げる視点を忘れずに、PDCAを回すことの重要性を振り返る良い機会となった。
- ・常日頃、改善の努力をしているが、しっかりした意識の中での努力ではなかったように思う。何故改善なのかをもっと意識しながら、日々の仕事に活かしていきたい。